



あおい 2025

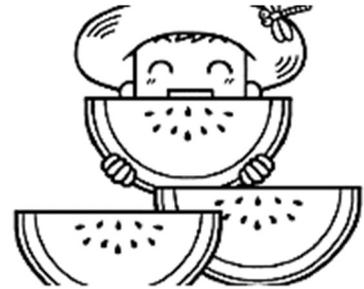
郡山市立守山小学校
令和7年7月1日
学校だより No. 14

今日から7月

— 1学期もあと14日間 —

4月7日（月）に始まった令和7年度第1学期も、残り2週間となりました。ランドセルが歩いているように見えた1年生もしっかりとした足取りで登校できるようになりました。上級生は、下級生の手本になれるように日々努力を重ねてきました。これもこれも、ご家庭からのご支援や励ましがあつたからこそ、と考えております。

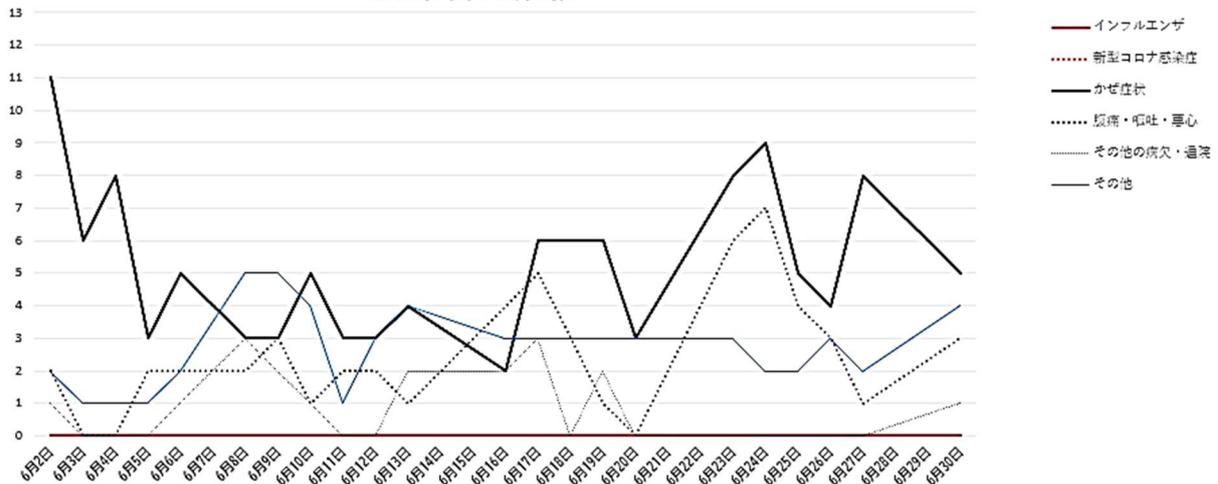
各学級では、各単元や1学期を振り返るテストを実施して、子どもたちに確実に力がついたのかを評価し、力がついていなかったところは再度丁寧に指導をします。通知票にAやBなどの評価をしますが、それは一過性のものであり、大切なことのは「わからないままにしておかない」ことです。昔から「聞くは一時の恥・聞かぬは一生の恥」と言われている通りです。



ともあれ、1学期最終日まで子どもたちが生き生きとした表情で、元気に学校生活ができるよう、誠心誠意努めてまいります。

6月の出席状況を見ますと、多湿による「体調不良」をはじめ、月後半は高温が続くようになってから「発熱」「胃腸炎」での欠席が多くなりました。子どもたちもご家庭の皆様も、健康維持に気をつけてお過ごしください。

欠席者の推移



☆☆☆ 6月の行事より ☆☆☆

【県中浄化センター見学】 (4年生 6月23日)

県中流域下水道の汚水処理場として、本市の公共下水道区域内汚水のほとんどを処理しています。本市をはじめ本宮市・須賀川市・鏡石町・矢吹町から、毎日97,500トン(25mプール 325杯分)がここに集められています。日和田町高倉にあって、供用開始は1988(昭和63)年です。

雨水をはじめ生活用水を浄化して、川に戻します。大きなごみをとった後は、様々な微生物の力を借りて、有機物を沈殿させるそうです。いくつもの沈殿槽を経て、「飲むことができる程度」になったら川に放流するそうです。

下水道の役割は、人間の活動する空間において生じる汚水の排除・処理・処分と共に雨水の排除により、その快適空間を維持・改善することにより、大きく次の4つに整理される、とのことでした。

- ① トイレが水洗化され、清潔で快適な生活環境を確保される。
- ② 雨水を速やかに排除したり、貯留・浸透することにより、浸水から街を守る。
- ③ 汚水を処理場できれいにし、川や海に流すことにより、水質の保全を図る。
- ④ 下水道の持つ資源(処理水、汚泥、熱等)の有効利用を図る。



←大きなごみをとった
だけの汚水のおい

網の目のように張り →
めぐらされた配管



【修学旅行 七日町方面】 (6年生 6月20日)

6年生は、班ごとに各所へ行って活動したので、撮影データを集めるのに時間がかかってしまいました。七日町方面の皆さん、すみませんでした。

七日町(なぬかまち)方面では、赤べこや起き上がり小法師の絵付け体験のほか、昭和なつかし館・野口英世青春館の見学をすすめました。とても高価な漆器が展示しているコーナーにも足を運んでいました。

昼食にはラーメンを食べて、おやつにベーグル…と「会津の食」も満喫することができたようです。

(裏話) 県立博物館の方が「刀をたくさん購入した学校さん、久しぶりです」と笑顔でおっしゃりました。博物館には貴重な資料がたくさん展示してあり、危険なので「刃狩」が実施されました。他の同じ規模の学校は、全部で3本ぐらいかと…。

